

### 3 就業の状況

#### (1)就業状態の変化

この19年間で、「正規の職員・従業員」の割合は減少、「パート・アルバイト」の割合は減少傾向

第1回調査から19年間の就業状況の変化をみると、「正規の職員・従業員」は、第1回39.0%から第20回2.1%と減少している。また、「パート・アルバイト」は、第1回17.0%から第20回12.3%と減少傾向となっている。(図5)

第1回で「仕事をしている」者について、性別に第20回の就業状況をみると、男の「(第1回)正規の職員・従業員」では36.7%が第20回も仕事をしており、「(第20回)パート・アルバイト」が13.7%、「(第20回)労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託」が7.6%と割合が高い。また、女の「(第1回)パート・アルバイト」では28.3%が第20回も仕事をしており、「(第20回)パート・アルバイト」が22.5%と割合が高くなっている。(表3)

図5 第1回調査からの就業状況の変化

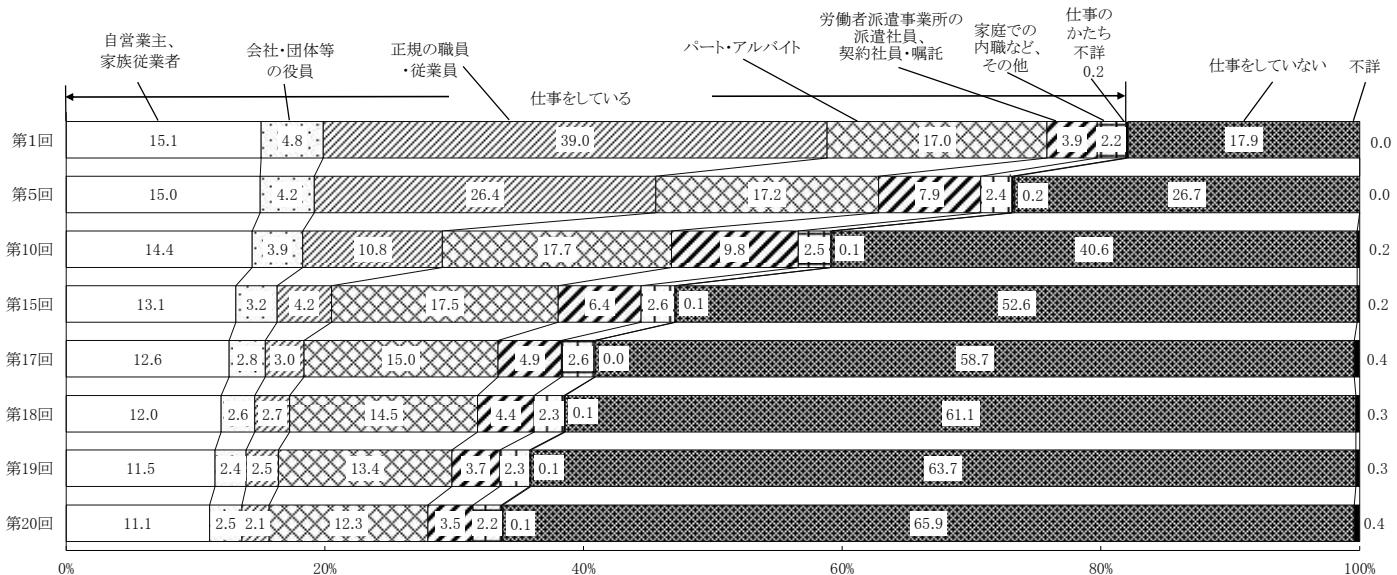


表3 性別別・第1回の就業状況別にみた第20回の就業状況

		第20回の仕事の有無・仕事のかたち									仕事をしていない
		総数	仕事をしている	自営業主、家族従業者	会社・団体等の役員	正規の職員・従業員	パート・アルバイト	労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託	家庭での内職など、その他		
性別	総数	(100.0)	100.0	33.8	11.1	2.5	2.1	12.3	3.5	2.2	65.9
・	仕事をしている	(82.1)	100.0	39.5	13.1	2.9	2.5	14.1	4.2	2.6	60.2
性別	仕事をしていない	(17.9)	100.0	7.6	2.0	0.3	0.3	3.9	0.5	0.5	91.8
・	男	(100.0)	100.0	42.7	15.3	4.3	3.3	11.2	6.1	2.3	57.1
性別	仕事をしている	(95.9)	100.0	43.8	15.8	4.4	3.3	11.5	6.3	2.4	55.9
・	自営業主、家族従業者	(18.0)	100.0	67.0	53.3	4.1	1.2	4.9	1.6	1.9	32.9
性別	会社・団体等の役員	(8.2)	100.0	53.0	9.4	24.9	4.9	6.5	5.2	1.8	46.7
・	正規の職員・従業員	(62.5)	100.0	36.7	6.8	2.2	3.8	13.7	7.6	2.5	63.0
性別	パート・アルバイト	(2.0)	100.0	31.8	6.1	-	1.5	16.7	3.0	3.8	65.9
・	労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託	(3.8)	100.0	39.4	8.3	0.8	3.1	14.2	11.8	1.2	60.6
性別	家庭での内職など、その他	(1.2)	100.0	39.5	9.9	3.7	1.2	11.1	2.5	11.1	60.5
・	仕事をしていない	(4.1)	100.0	16.2	3.6	1.4	1.4	5.4	2.9	1.1	83.5
性別	女	(100.0)	100.0	26.5	7.6	1.0	1.2	13.1	1.4	2.1	73.1
・	仕事をしている	(70.8)	100.0	34.7	10.0	1.3	1.6	17.0	1.9	2.7	64.9
性別	自営業主、家族従業者	(12.7)	100.0	56.8	43.8	1.9	0.8	6.4	0.7	3.2	42.5
・	会社・団体等の役員	(1.9)	100.0	49.1	8.8	23.9	3.1	8.2	0.6	4.4	50.3
性別	正規の職員・従業員	(19.8)	100.0	29.6	2.9	0.9	3.7	16.7	2.7	2.5	69.8
・	パート・アルバイト	(29.3)	100.0	28.3	1.9	0.1	0.5	22.5	1.3	1.8	71.4
性別	労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託	(3.9)	100.0	33.5	2.2	0.3	2.2	20.3	7.4	0.9	66.5
・	家庭での内職など、その他	(3.0)	100.0	28.3	4.0	-	0.8	10.5	1.2	11.7	71.7
性別	仕事をしていない	(29.2)	100.0	6.7	1.8	0.2	0.2	3.7	0.2	0.5	92.8

注:「総数」「男」「女」には第1回及び第20回の仕事の有無の不詳を含み、「仕事をしている」には仕事のかたちの不詳を含む。

## (2) 19年前(第1回調査)の60歳以降の就業希望と現在(第20回調査)の仕事の有無

19年前(第1回)(50~59歳)調査)に60歳以降の就業希望がある者で、現在(第20回)(69~78歳)調査)仕事をしている理由は「健康を維持するため」が最も高い

19年前(第1回)の60歳以降の就業希望をみると、「60歳以降も仕事をしたい」と回答していた者は、71.2%となっており、そのうち、現在(第20回)仕事をしている者は41.2%となっている(図6、図7)。

図6 19年前(第1回)の60歳以降の就業希望の割合

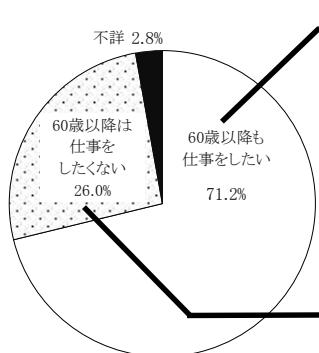
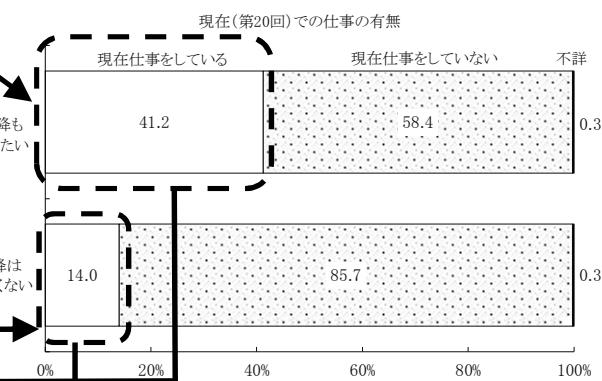
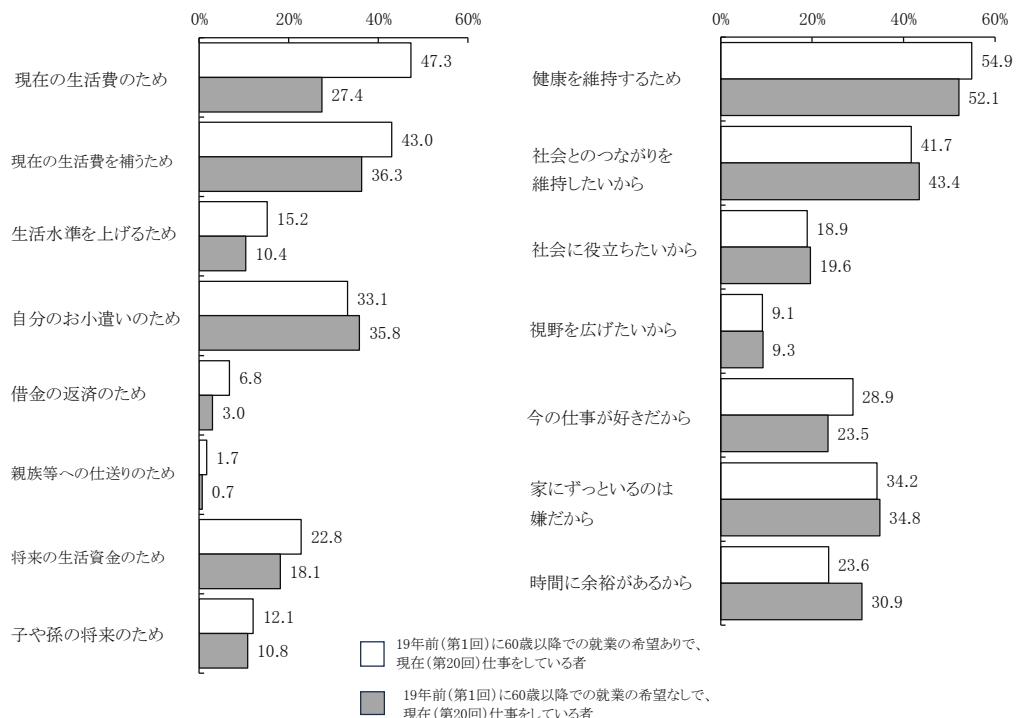


図7 19年前(第1回)の60歳以降の就業希望別にみた現在(第20回)の仕事の有無



また、19年前(第1回)の60歳以降の就業希望別に、現在(第20回)仕事をしている者の仕事をしている理由をみると、19年前(第1回)に就業希望があった者では「健康を維持するため」が54.9%と最も高く、次いで、「現在の生活費のため」「現在の生活費を補うため」の順となっている。一方、19年前(第1回)に就業希望がなかった者では「健康を維持するため」が52.1%と最も高く、次いで、「社会とのつながりを維持したいから」「現在の生活費を補うため」の順となっている。(図8)

図8 19年前(第1回)の60歳以降の就業希望別にみた現在(第20回)仕事をしている理由(複数回答)



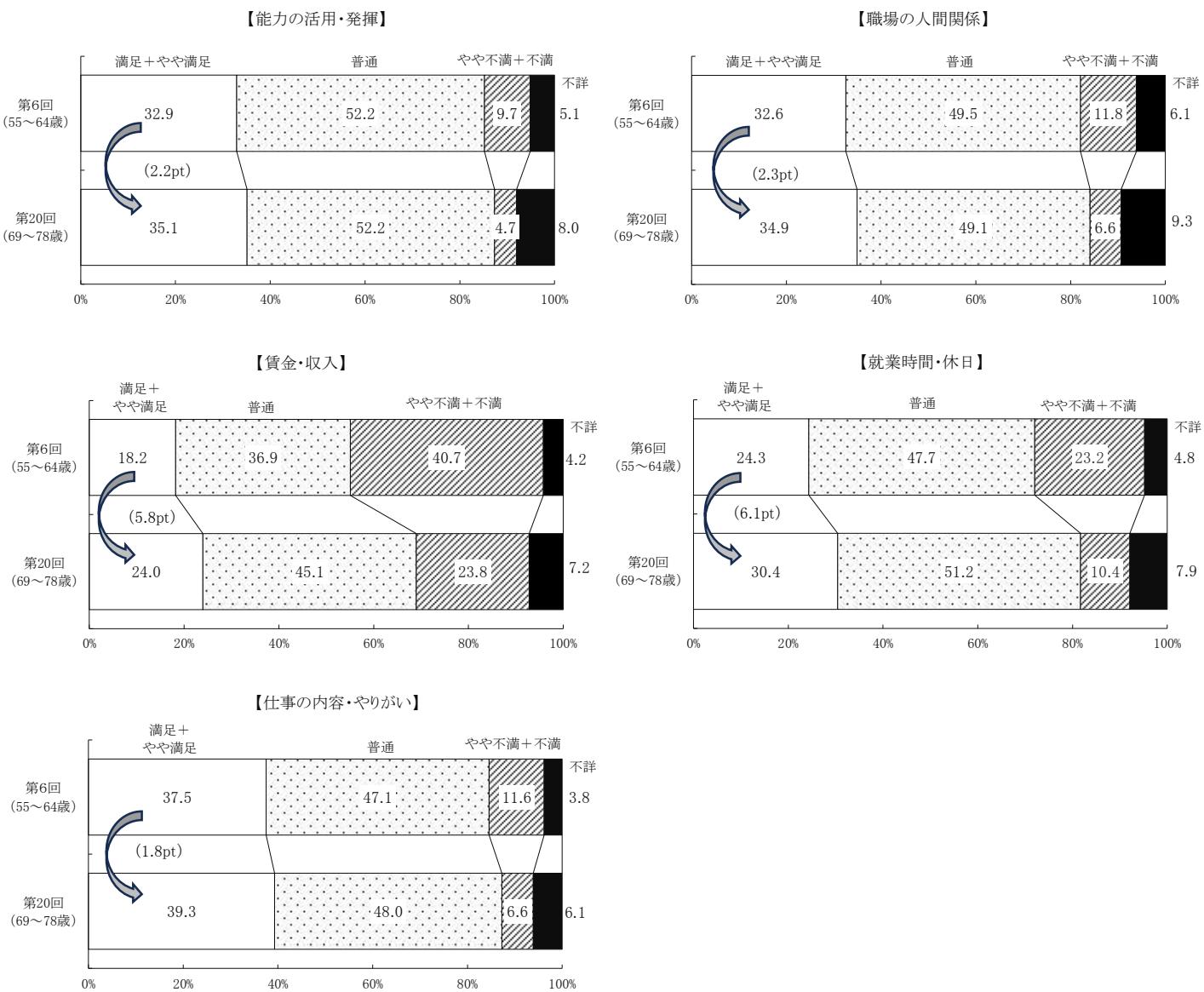
注:第1回での60歳以降の就業希望ごとに、現在(第20回)仕事をしている者で仕事をしている理由に回答のあった者をそれぞれ100としたときの割合である。

### (3)仕事への満足感

第20回(69~78歳)調査での仕事への満足感は第6回(55~64歳)調査と比べていずれの項目でも「満足+やや満足」の割合が増加

仕事をしている者の仕事への満足感を、比較可能な第6回と第20回とで比較すると、いずれの項目でも「満足+やや満足」の割合が増加している。最も差が大きいのは、「就業時間・休日」で6.1ポイントとなっており、次いで「賃金・収入」が5.8ポイントとなっている(図9)。

図9 第6回(55~64歳)と第20回(69~78歳)の仕事への満足感



注:1) 第6回及び第20回で仕事をしている者をそれぞれ100としたときの割合である。

2) ( )の数値は、仕事への満足感の「満足+やや満足」の割合における第20回と第6回の差(「第20回」-「第6回」)である。